

国際会議から

ブラフボディ空気力学国際会議

本国際会議は、流線形ではないブラフボディの空気力学（たとえば、建築物周りの流れを代表とする風工学分野の空気力学）に関する会議です。第1回が京都で開催され、それ以降、オーストラリア、アメリカ、ドイツ、カナダ、イタリア、中国の各都市で4年ごとに開催され、今回が8回目となります。

今回の会議には、3件の基調講演、186件の口頭発表、19件のポスター発表がありました。そして、流体構造連成、風環境、基本断面、高層建築物、橋りょう、竜巻・突風、風力エネルギー、鉄道・自動車・船舶などのセッションがありました。著者は鉄道・自動車・船舶のセッション（座長はバーミンガム大学のペーカー教授）で、横風を受ける鉄道車両に生じる変動空気力について発表を行い、有意義な意見交換をしました。

風工学関係の著名な先生方や鉄道の空力分野で著名な



開催会場のノースイースタン大学



発表の様子

中出孝次
環境工学研究部
車両空力特性研究室
主任研究員

ペーカー教授の講演を聴くことができ、貴重な知見が得られました。

今回の開催都市のボストンは、毎年多くの観光客が訪れる、アメリカで最も歴史の古い街の一つであり、近郊のケンブリッジにはハーバード大学、MITがあります。バス・地下鉄を利用しましたが、地下鉄路線網は色分けされて命名されており、移動が容易になるように工夫されていました。

正式名称：8th International Colloquium on Bluff Body Aerodynamics and Applications

開催国：アメリカ合衆国(ボストン)

期間：2016/6/7-11

主催：ノースイースタン大学

開催頻度：4年ごと

次回開催予定：2020年(場所は未定)

ホームページURL：<http://www.northeastern.edu/bbaa8/>